

---

次期「ふくしま創生総合戦略」策定に係る  
有識者委員からいただいた御意見等への対応

---

令和7年2月10日  
復興・総合計画課

# 令和6年度第2回福島県地域創生・人口減少対策有識者会議 概要

- 開催日：令和6年11月21日（水）
- 出席：福島県地域創生・人口減少対策有識者会議委員11名中 出席6名、欠席5名

## 主な御意見の概要

ひと	<ul style="list-style-type: none"><li>・イノベーション・コースト構想（ロボット、農業）などは学生の学びの場としても有効であり、復興・創生関連のプロジェクトを学びの場として活用する視点も「福島ならではの」ではないでしょうか。</li><li>・教育とDXについて、教育現場のデジタル化もぜひ進めていただきたい。タブレットなどは普及しているが、高校入試ウェブ出願は、東北の他県では進んでいる中で、福島県は遅れている。また、教職員の環境改善も重要。教職員の環境改善が、結局子供たちの教育の質の担保になる。</li></ul>	4件
くらし	<ul style="list-style-type: none"><li>・過疎地域において、昔からある食堂、パン屋、本屋等、地域を支えていたインフラが消滅している。新しい事業を創ることも重要だが、地域を支えていたインフラを、若者・移住者などが事業承継していくことも必要。</li><li>・地域が活力ある地域にしていくため、移住者に選んでもらうという受け身の発想から、地域においてどういった人材が必要か考えることも必要。</li></ul>	2件
しごと	<ul style="list-style-type: none"><li>・「福島ならではの」という点において、復興・創生の取組として、イノベーション・コースト構想など先進的なプロジェクトもあるため、そういった仕事ができる環境が福島にあることを強調できれば、「福島ならではの」の特徴がでると思う。</li><li>・働き方改革のところで、企業が今、人が足りない。少子化で労働力不足だと嘆いているが、それを起こしているのは自社という意識がない。これは少子化対策であっても女性活躍であっても、どちらでも必要だなというふうに思っており、女性活躍をどうしていきますか、長時間労働の是正をどうやっていきますか、ということをお聞きしたい。これを我が事にしていただくことが必要。</li></ul>	11件

# 有識者委員からいただいた主な御意見への対応 1/6

No.	委員	いただいた主な御意見	次期総合戦略（案）への反映箇所
1	岩瀬委員	<p><b>【ひと】</b> （事後意見） ・イノベーション・コースト構想（ロボット、農業）などは学生の学びの場としても有効であり、復興・創生関連のプロジェクトを学びの場として活用する視点も「福島ならではの」ではないでしょうか。</p>	<p><b>基本目標 1</b> 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと） 3 教育の充実 （2）福島に誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成 → <u>STEAM教育等の推進（イノベーション・コースト構想関連）</u>（該当P42）</p> <p><b>基本目標 3</b> 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） 2 若者の定着・還流の促進 （1）福島を知る機会の創出・情報発信 → <u>県内企業が就職先として選ばれる支援</u>（該当P70） （3）発達段階に応じた地元企業等への愛着形成 → <u>地域のしごとの魅力を地域の方から学ぶ機会の充実</u>（該当P72） 3 中小企業等の振興 （2）人材育成・人手不足への対応 → <u>若手人材の確保・定着</u>（該当P75） 4 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進 （1）次世代産業の育成 → <u>成長が期待される産業の人材の育成・確保</u>（該当P78）</p>
2	岡崎委員	<p><b>【ひと】</b> ・教育の充実について、単なる学力の向上、キャリア教育だけでなく、子どもと地域で働いている大人が関わり合う（コミュニケーション）ことで、子どもが将来その地域で働き暮らしたいと思わせるような、あこがれの連鎖が必要。</p>	<p><b>基本目標 1</b> 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと） 1 教育の充実 （2）福島に誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成 → <u>学校と地域等との連携</u>（該当P42）</p> <p><b>基本目標 3</b> 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） 2 若者の定着・還流の促進 （3）発達段階に応じた地元企業等への愛着形成 → <u>地域のしごとの魅力を地域の方から学ぶ機会の充実</u>（該当P72）</p>

## 有識者委員からいただいた主な御意見への対応 2/6

No.	委員	いただいた主な御意見	次期総合戦略（案）への反映箇所
3	高橋委員	【ひと】 ・教育とDXについて、教育現場のデジタル化もぜひ進めていただきたい。タブレットなどは普及しているが、高校入試ウェブ出願は、東北の他県では進んでいる中で、福島県は遅れている。また、教職員の環境改善も重要。教職員の環境改善が、結局子供たちの教育の質の担保になる。	<b>基本目標 1</b> <b>一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと）</b> 1 教育の充実 (2) 魅力ある教育環境づくり → <u>教育・校務のDX推進</u> （該当P44）
4	西内委員	【ひと】 保育と介護は連動している。保育に関わらなかった大人は、介護にも関わらない。介護問題は、若年女性の流出理由の大きな要因となっている。	<b>基本目標 1</b> <b>一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと）</b> 1 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 (3) 子育て支援 → <u>家事・育児・介護等への参加促進</u> （該当P35）  <b>基本目標 3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 1 働き方改革の推進 (1) 多様で柔軟な働き方 → <u>多様な勤務形態、休暇制度の導入支援</u> （該当P68） (2) 女性が働きやすい職場づくりの推進 → <u>男性の育児参画の推進</u> （該当P69）
5	岡崎委員	【くらし】 ・過疎地域において、昔からある食堂、パン屋、本屋等、地域を支えてたインフラが消滅している。新しい事業を創ることも重要だが、地域を支えていたインフラを、若者・移住者などが事業承継していくことも必要。	<b>基本目標 2</b> <b>あらゆる人が安心して豊かに過ごすことができる暮らしをつくる（暮らし）</b> 3 過疎・中山間地域の振興 (3) 仕事の確保 → <u>地域を支える企業、商店への支援</u> （該当P65）  <b>基本目標 3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 3 中小企業等の振興 (1) 中小企業等の成長力強化 → <u>事業の再生・承継・転換</u> （該当P73）
6	岡崎委員	【くらし】 ・地域が活力ある地域にしていくため、移住者に選んでもらうという受け身の発想から、地域においてどういう人材が必要か考えることも必要。	<b>基本目標 2</b> <b>あらゆる人が安心して豊かに過ごすことができる暮らしをつくる（暮らし）</b> 3 過疎・中山間地域の振興 (1) 担い手の確保強化 → <u>地域の自主的・自立的な地域づくりの担い手の育成</u> （該当P62）

## 有識者委員からいただいた主な御意見への対応 3/6

No.	委員	いただいた主な御意見	次期総合戦略（案）への反映箇所
7	石山 委員	<p><b>【しごと】</b> ・若者の流出、女性活躍が課題なので、戦略において、もっと強く押し出してもいいのではないかと。</p>	<p><b>基本目標 1</b> 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと） 4 誰もが活躍できる社会の実現 （2）女性が活躍できる環境づくり → <u>女性の活躍促進</u>（該当P47）</p> <p><b>基本目標 3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 1 働き方改革の推進 （2）女性が働きやすい職場づくりの推進 → <u>企業における女性活躍</u>（該当P69） 2 若者の定着・還流の促進 （1）福島を知る機会の創出・情報発信 → <u>県内企業が就職先として選ばれる支援</u>（該当P70） （2）経済的支援による県内就職の促進 → <u>学生等の経済的支援</u>（該当P72） （3）発達段階に応じた地元企業等への愛着形成 → <u>大学生等の県内定着・還流の促進</u>（該当P72） 3 中小企業等の振興 （3）魅力ある職場づくり・情報発信力の強化 → <u>多様な人材が活躍できる職場環境の整備</u>（該当P77）</p>
8	岩瀬 委員	<p><b>【しごと】</b> ・「福島ならではの」という点において、復興・創生の取組として、イノベーション・コースト構想など先進的なプロジェクトもあるため、そういった仕事ができる環境が福島にあることを強調できれば、「福島ならではの」の特徴がでると思う。</p>	<p><b>基本目標 1</b> 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと） 3 教育の充実 （2）福島に誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成 → <u>STEAM教育等の推進（イノベーション・コースト構想関連）</u>（該当P42）</p> <p><b>基本目標 3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 2 若者の定着・還流の促進 （3）発達段階に応じた地元企業等への愛着形成 → <u>職業体験等を通じた職への興味の醸成（イノベーション・コースト構想関連）</u>（該当P72） 3 中小企業等の振興 （2）人材育成・人手不足への対応 → <u>イノベーション・コースト構想実現に向けた人材育成</u>（該当P75） 4 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進 （1）次世代産業の育成 → <u>イノベーション・コースト構想の推進</u>（該当P78）</p>

## 有識者委員からいただいた主な御意見への対応 4/6

No.	委員	いただいた主な御意見	次期総合戦略（案）への反映箇所
9	岩瀬委員	<p>【しごと】 （事後意見） ・福島県で輩出された人材が、県内産業の一翼を担うことは人口流出を防ぐ観点からも重要。ふくしまで活躍する人材を育成するという視点も必要では。</p>	<p><b>基本目標 1</b> 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと） 3 教育の充実 （2）福島に誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成 → <u>職業体験等を通じた職への興味の醸成</u>（該当P42）</p> <p><b>基本目標 3</b> 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） 2 若者の定着・還流の促進 （1）福島を知る機会の創出・情報発信 → <u>県内企業が就職先として選ばれる支援</u>（該当P70） （3）発達段階に応じた地元企業等への愛着形成 → <u>地域のしごとの魅力を地域の方から学ぶ機会の充実</u>（該当P72） 3 中小企業等の振興 （2）人材育成・人手不足への対応 → <u>若手人材の確保・定着</u>（該当P75） 4 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進 （1）次世代産業の育成 → <u>成長が期待される産業の人材の育成・確保</u>（該当P78）</p>
10	岩瀬委員	<p>【しごと】 （事後意見） ・イノベーションコースト構想（ロボット、農業）、F-REIなどは国内外に誇る大型事業であり、産業人や研究者を福島に呼び寄せる（人の流れ）「福島ならではの」ものであり、何らかの記載をすべきではないでしょうか。</p>	<p><b>基本目標 3</b> 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） 4 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進 （1）次世代産業の育成 → <u>イノベーションコースト構想の推進</u>（該当P78）</p>
11	岩瀬委員	<p>【しごと】 （事後意見） ・DXとAIも記載すべきでは。今後、産業の振興にはDX, AIは欠くべからざる技術であり、産業そのものとなります。</p>	<p><b>基本目標 3</b> 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） 3 中小企業等の振興 （1）中小企業等の成長力強化 → <u>デジタル・ロボットを活用した生産性向上</u>（該当P73） 4 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進 （1）次世代産業の育成 → <u>DXの理解促進・普及啓発</u>（該当P78）</p>

# 有識者委員からいただいた主な御意見への対応 5/6

No.	委員	いただいた主な御意見	次期総合戦略（案）への反映箇所
12	岩瀬委員	<p><b>【しごと】</b> （事後意見） ・「柔軟に仕事ができる環境（テレワーク、フレックスタイム等）」も記載すべきではないでしょうか。福島県は女性流出ワースト県であり、若年女性の流出を防ぐことが大きな課題。そのためには“選ばれる職場環境”が必要であり、その要因を前面に打ち出すべきでは。</p>	<p><b>基本目標 1</b> <b>一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと）</b> 4 誰もが活躍できる社会の実現 （2）女性が活躍できる環境づくり→ <u>女性の活躍促進</u>（該当P47）</p> <p><b>基本目標 3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 1 働き方改革の推進 （1）多様で柔軟な働き方 → <u>多様な勤務形態、休暇制度の導入支援</u>（該当P68） （2）女性が働きやすい職場づくりの推進 → <u>企業における女性活躍</u>（該当P69） 3 中小企業等の振興 （3）魅力ある職場づくり・情報発信力の強化 → <u>多様な人材が活躍できる職場環境の整備</u>（該当P77）</p>
13	岡崎委員	<p><b>【しごと】</b> ・基本目標 3 の 2「若者の定着」の（1）のところで、「知る機会の創出」という記載だけでは、意味が捉えにくいと感じました。福島を知る、あるいは地元を知るといふ意味だろうと思いますが、検討してもらいたい。</p>	<p><b>基本目標 3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 2 若者の定着・還流の促進 （1）<u>福島を知る機会の創出・情報発信</u>（該当P70）</p>
14	高橋委員	<p><b>【しごと】</b> ・働き方改革のところで、企業が今、人が足りない。少子化で労働力不足だと嘆いているが、それを起こしているのは自社という意識がない。これは少子化対策であっても女性活躍であっても、どちらでも必要だなというふうに思っており、女性活躍をどうしていきますか、長時間労働の是正をどうやっていきますか、ということを我が事にいただくことが必要。</p>	<p><b>基本目標 1</b> <b>一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと）</b> 1 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 （3）子育て支援 → <u>ライフステージに応じた仕事と生活の調和の促進</u>（該当P35） 4 誰もが活躍できる社会の実現 （2）女性が活躍できる環境づくり → <u>女性の活躍促進</u>（該当P47）</p> <p><b>基本目標 3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 1 働き方改革の推進 （1）多様で柔軟な働き方 → <u>長時間労働の是正</u>（該当P68） （2）女性が働きやすい職場づくりの推進 → <u>企業における女性活躍の推進</u>（該当P69）</p>

## 有識者委員からいただいた主な御意見への対応 6/6

No.	委員	いただいた主な御意見	次期総合戦略（案）への反映箇所
15	西内委員	<p>【しごと】 基本目標3に記載のある「知る機会の創出」について、色々な手立てを基本施策で述べていただいているが、特に保護者へのアプローチを重視すべきである。</p>	<p><b>基本目標3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 2 若者の定着・還流の促進 (1) 福島を知る機会の創出・情報発信 → <u>保護者等を通じた情報発信</u>（該当P70）</p>
16	西内委員	<p>【しごと】 若者の定着と還流の促進に、「発達段階に応じた地元企業等との愛着形成」との記載を入れていただき大変ありがたい。ただ、記載にある小中高校生のほか、大学での取組も必要と考える。</p>	<p><b>基本目標3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 2 若者の定着・還流の促進 (3) 発達段階に応じた地元企業等への愛着形成 → <u>高等教育機関と連携した取組の推進</u>（該当P72）</p>
17	星委員	<p>【しごと】 人口減少について、県内企業の経営者に我が事として捉えてもらうために、民間企業を当事者として上手く巻き込んでいくことが重要と感じている。</p>	<p><b>基本目標1</b> <b>一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと）</b> 1 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 (3) 子育て支援 → <u>ライフステージに応じた仕事と生活の調和の促進</u>（該当P35） 4 誰もが活躍できる社会の実現 (2) 女性が活躍できる環境づくり → <u>女性の活躍促進</u>（該当P47）</p> <p><b>基本目標3</b> <b>若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）</b> 1 働き方改革の推進 (1) 多様で柔軟な働き方 → <u>長時間労働の是正</u>（該当P68） (2) 女性が働きやすい職場づくりの推進 → <u>企業における女性活躍の推進</u>（該当P69）</p>